

12

ざっくり 聖書入門

「今を生きる 私たち」

黙示録 終末論



【聖書入門 全12回のアウトライン♪】

■旧約聖書■

- ①アダム
- ②ノア
- ③アブラハム
- ④ヤコブ
- ⑤モーセ・前編
- ⑥モーセ・後編
- ⑦ダビデ
- ⑧エレミヤ(預言者たち)

■新約聖書■

- ⑨メシア・前編
- ⑩メシア・後編
- ⑪使徒たち
- ⑫今を生きる私たち

【今日のアウトライン】

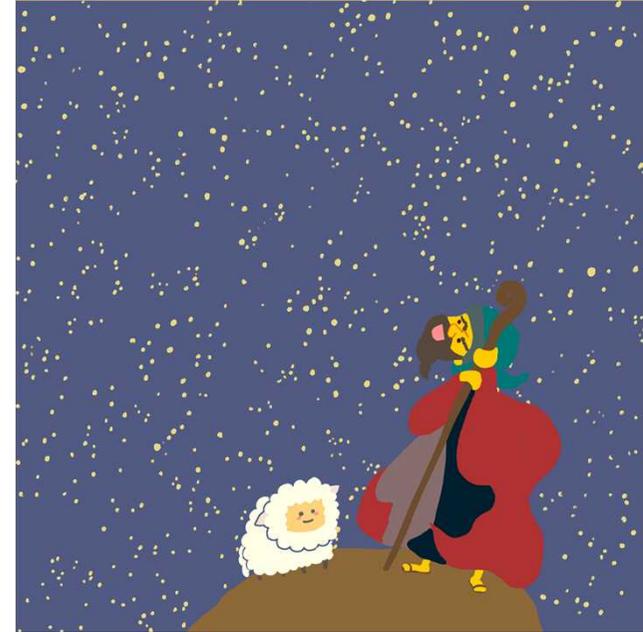
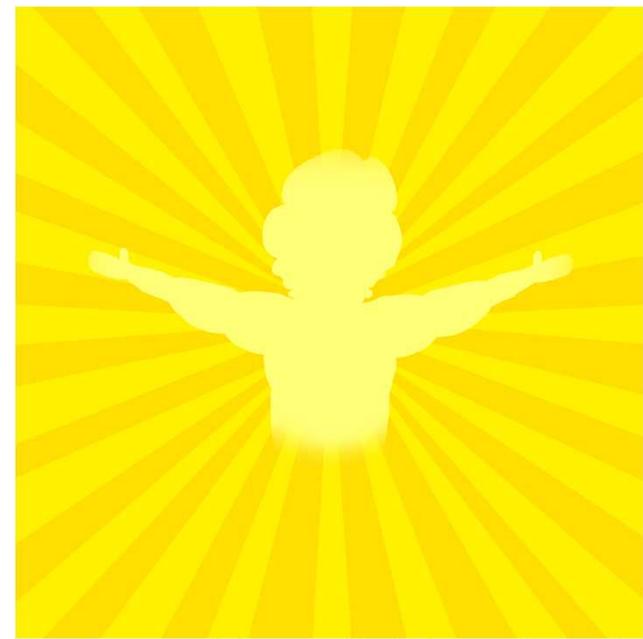
- 0. おさらい・聖書の世界観
 - I. 7つの教会
 - II. 教会の携挙
 - III. 天上の礼拝
 - IV. 大患難時代
 - V. 千年王国
 - VI. 白い御座の裁き
 - VII. 新天新地
 - VIII. 完成された啓示
- 主の栄光のなかへ
招かれている私たち





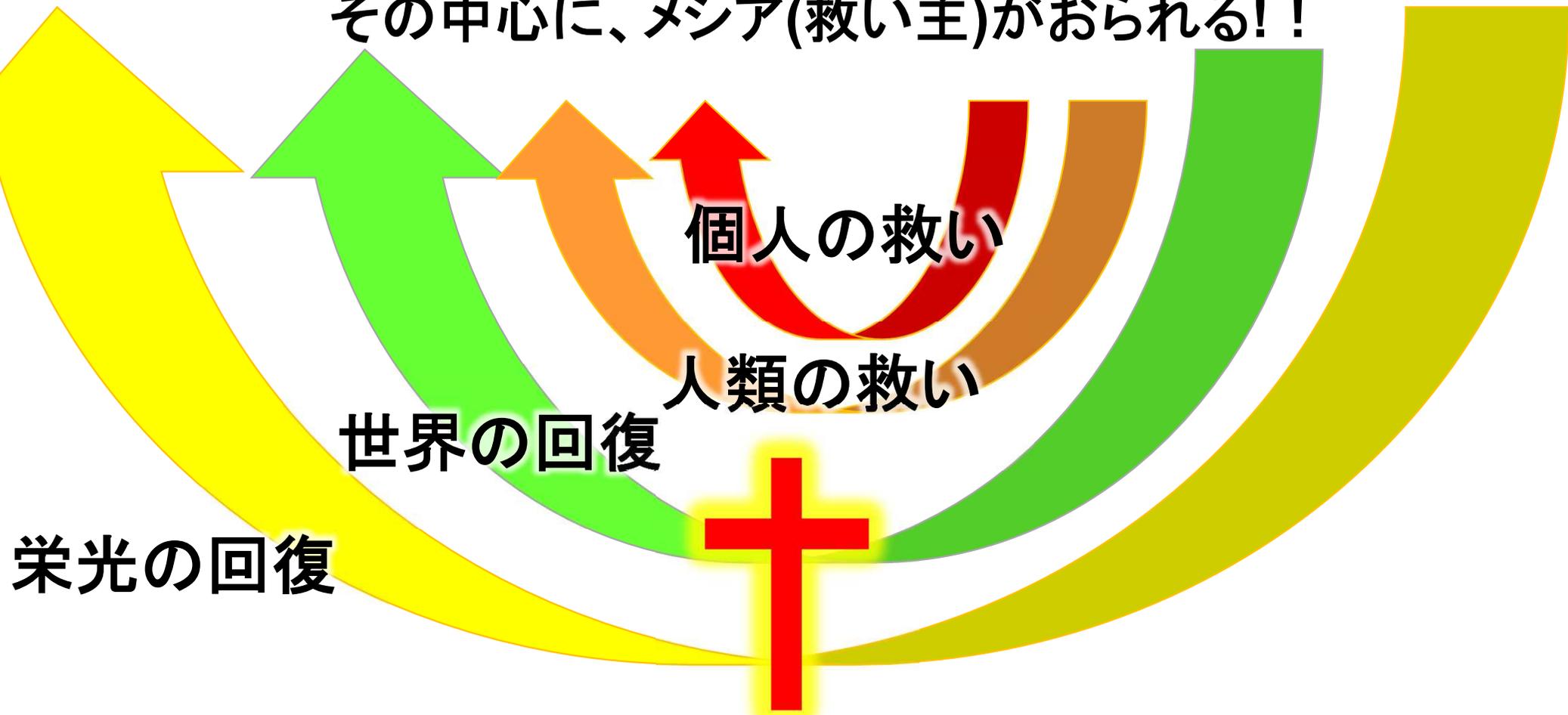
おさらい

聖書の世界観



聖書の最大のテーマは、「神の栄光の回復」

世界に神の栄光が回復される時、すべて回復される。
その中心に、メシア(救い主)がおられる!!



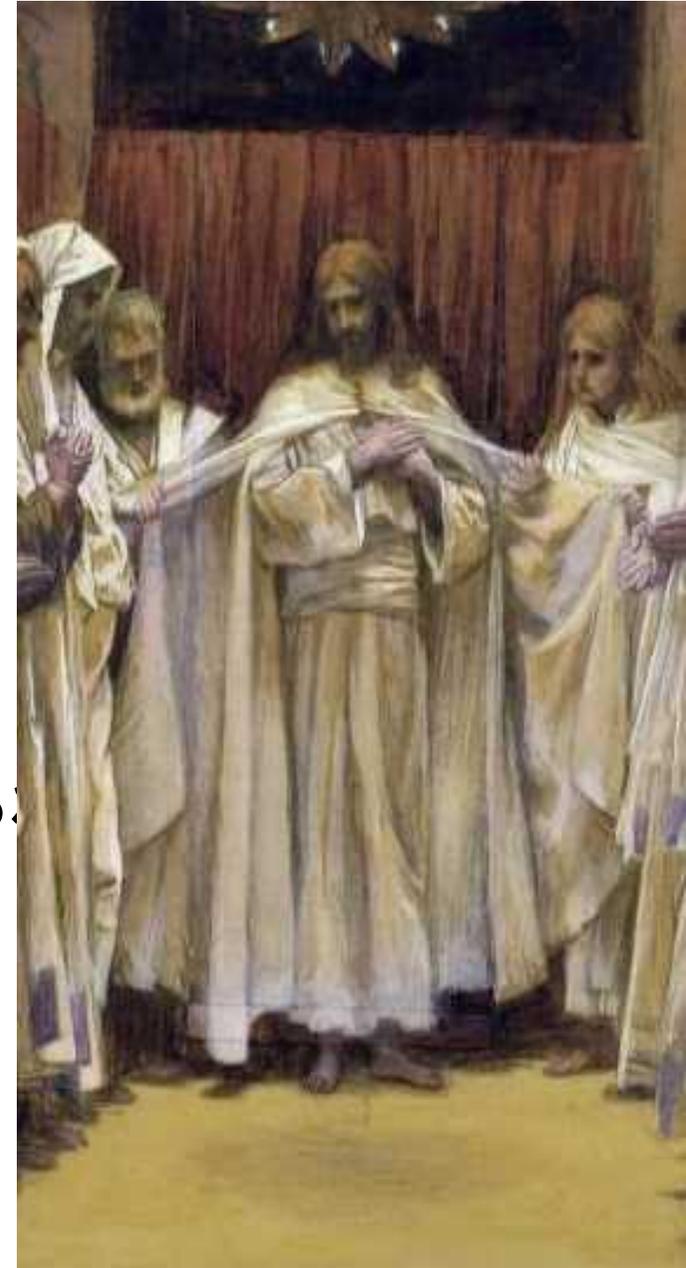
【メシアの生涯】

■ 多くの預言通り、イスラエルに誕生したメシア、イエスは、数々の奇跡によって、証拠を示した。

■ しかし、イスラエルはメシアを拒み、ローマに引き渡し、十字架に追いやった。

■ メシアは、私たちの罪のために十字架にかけられ、死んで葬られ、死を打ち破って復活された。

■ 昇天したメシアに代わり、約束の聖霊が弟子たちに降る。「教会時代」の始まりである。



【使徒の働きが記す 福音の広がり】

イエスの昇天 1



聖霊降臨・ペンテコステ



【ユダヤ人伝道】エルサレム

2~6 2

聖霊降臨②

ステファノの殉教・大迫害



【サマリア伝道】



聖霊降臨③

サウロの回心 9



【異邦人伝道】

10



聖霊降臨④

ヤコブの殉教・迫害 12

宣教旅行①

13 ~ 14

エルサレム使徒会議 15

宣教旅行②

15 ~ 18

宣教旅行③

18 ~ 20

パウロの逮捕・監禁 21 ~ 26

パウロのローマへの護送・難破 27

【ローマ伝道】 28

さらに世界へ

パウロ (15年間)

ペテロ (15年間)



【福音宣教の広がり】

教会は、エルサレムで誕生し、

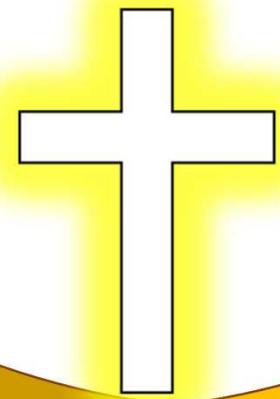
30年の間に、小アジア(トルコ)、ギリシャ、ローマに

広がっていった。

【聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある】

天地創造
人類の墮罪

キリストの
十字架の
死と復活



世界の回復
(完全な神の国)

キリストの
再臨

これから起きること

今の時代(教会時代)

～ゴールは、世界の回復。完全な「神の国」～

「神の国(天の国)」とは？ ...ベルゼブル論争以前

①永遠の王国 普遍的王国

②霊的な王国 (真の信者たち)

⑤千年王国

モーセ～ゼデキヤ

③神政政治の王国

メシア到来と共に!!

【地上における神の国】

「神の国(天の国)」とは？ ...ベルゼブル論争以後

①永遠の王国 普遍的王国

②霊的な王国 (真の信者たち)

⑤千年王国

④奥義としての王国

モーセ～ゼデキヤ

③神政政治の王国

【地上における神の国】

イエスが教えられた「神の国(天の国)」

①永遠の王国 普遍的王国

②霊的な王国 (真の信者たち)

新天新地

⑤千年王国

再臨～審判



④奥義としての王国

(恵みの時代)
(≡教会時代)

メシア拒否 ~ メシア受容

モーセ～ゼデキヤ
③神政政治の王国

【地上における神の国】

【恵みの時代】
天地創造

【良心の時代】
墮罪
~大洪水

【人類統治の時代】
バベルの塔事件

【約束の時代】
アブラハム
~ヤコブ

【律法の時代】
イスラエル
王国時代
メシア初臨

【恵みの時代】
聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

【御国の時代】
千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

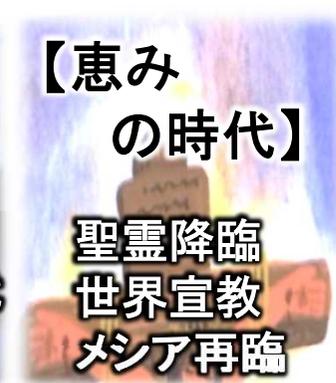
⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

過去

現在

未来



【恵みの時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの
塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

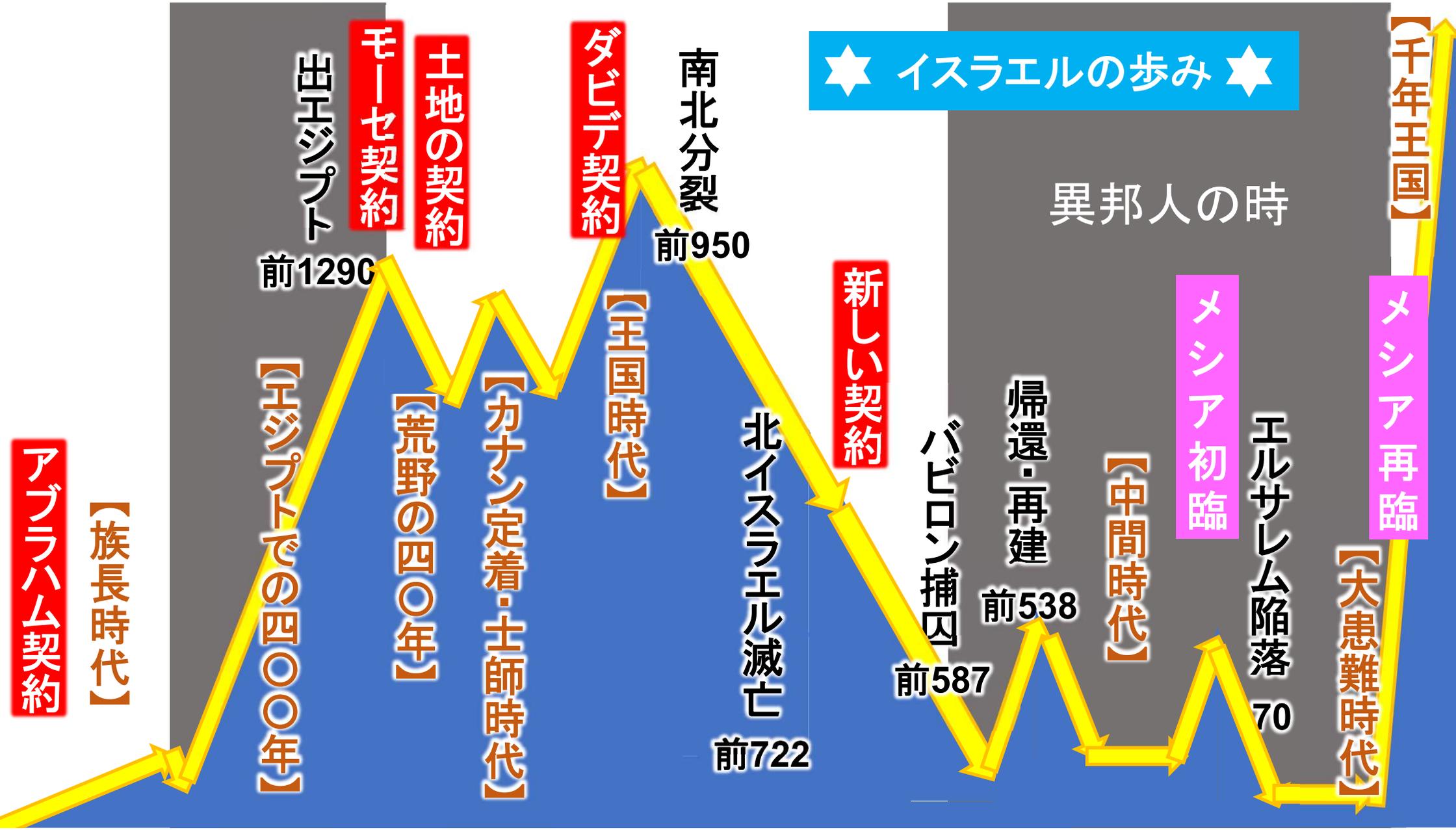
すべての約束が実現する
御国の時代へ!!

過去

現在

未来

★ イスラエルの歩み ★



出エジプト
前1290

モーセ契約

土地の契約

ダビデ契約

南北分裂
前950

新しい契約

バビロン捕囚
前587

帰還・再建
前538

【中間時代】

メシア初臨

エルサレム陥落
70

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

【エジプトでの四〇〇年】

【荒野の四〇年】

【カナン定着・士師時代】

【王国時代】

北イスラエル滅亡

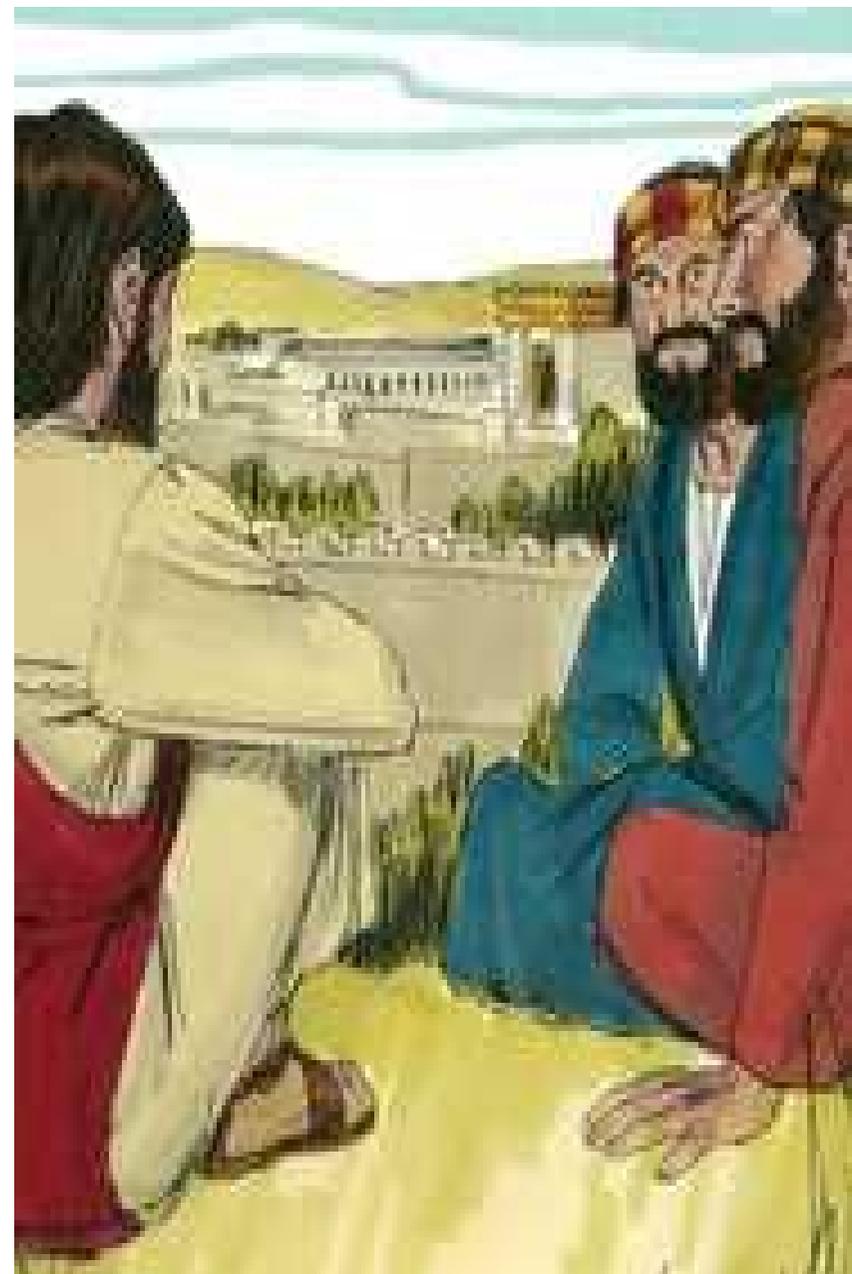
前722

【族長時代】

アブラハム契約

【聖書が教える今の時代とは？】

- イエスは、十字架の死と復活によって、悪魔に勝利したが、まだ正式に、地上の王になっていない。
- 悪魔が地上を不法占拠している状況。
- 世の中は、悪くなっていく一方。
「方々で戦争が起こり、偽キリストが大勢現れる。」
イエスの警告(マタイ24:5～6)



【聖書の救いと終末観の原則】

- 人は、ただ、イエスを救い主と信じて救われる。
- 全ての人に、救いの手が差し伸べられている。
⇒ 応答した人は、その瞬間に救われる。
- 世界の回復は、再臨のイエスがなされる。
⇒ それがいつかは、誰も分からない。
- 人間の努力で、終末が早まることはない!!



【なぜイエスは、すぐに来ないのか？】

- 再臨のイエスは、王の王として、「裁き主」として来る。
- その時、あらゆる悪は裁かれる。裁きを免れる人は、一人もいない。
- 一人でも多くの人が、福音を信じて救われるための、“猶予期間”が、今の時代!!

イエスが来られる前か、あなたが死ぬ前に、福音を信じなさい、ということ!!



【黙示録について】

■ 著者 ...十二使徒の一人、ヨハネ。

➡ヨハネは、自分が見聞きしたことを証言として記した。

■ 年代 ...AD95年頃に、流刑先のパトモス島で記述。

➡主イエスの十字架と復活から、約65年後。

(「使徒の働き」のラストから35年後)

➡ローマ帝国の迫害が強まり、多くの殉教者も。

2世代目のクリスチャンが主流に。

■ 目的 ...迫害に直面している信者の励まし

①終末の希望をもって迫害を耐え忍ぶ。

②終わりの日に、悪は必ず裁かれ、

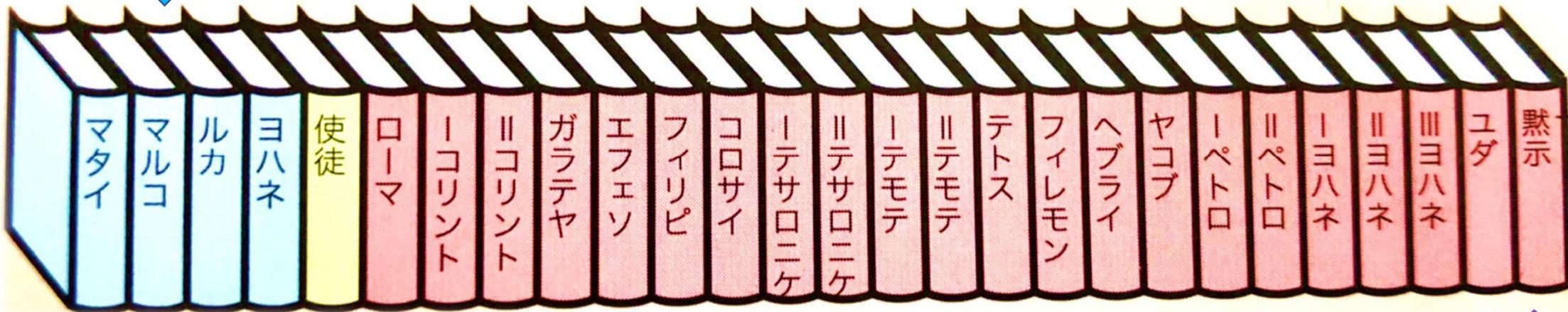
主イエスが王の王となって、世界を統治する。



【新約聖書の中の黙示録】

【福音書】
メシアの生涯

【書簡・手紙】 使徒たちによる手紙 メシアの教え



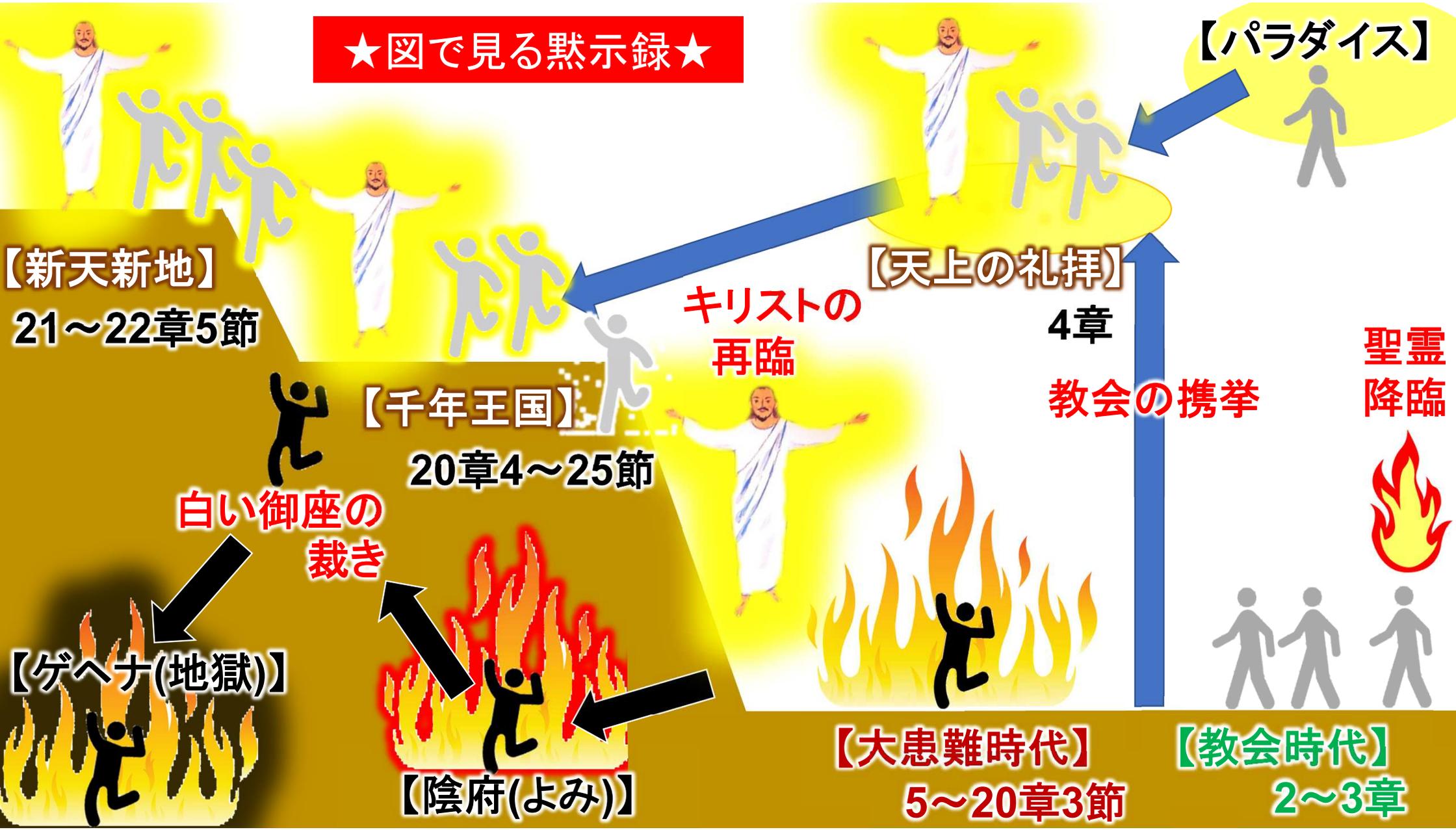
【使徒行伝】
教会の歴史(最初期)
福音の広がり

【黙示録】
聖書預言の集大成
終末預言

黙示録アウトライン

序 文	栄光のキリストとの遭遇	1章
教会時代(現在)	教会への励ましと警告	2～3章
天上の礼拝	教会の携挙～天上の礼拝	4章
大艱難時代	大艱難時代に起こること キリストの再臨	5章～20章3節
千年王国	千年王国の様子 白い御座の裁き(最終的裁き)	20章4節～25節
新天新地	地に降る天のエルサレム 永遠の神の王国	21章1節～22章5節
結 論	イエスの宣言と招き 警告と約束	22章6～21節

★図で見る黙示録★



【パラダイス】

【新天新地】
21~22章5節

【天上の礼拝】
4章
教会の携挙

キリストの
再臨

【千年王国】
20章4~25節

白い御座の
裁き

【ゲヘナ(地獄)】

【陰府(よみ)】

【大患難時代】
5~20章3節

【教会時代】
2~3章

聖霊
降臨



I. 教会時代

7つの教会への手紙から

黙示録2～3章



【7つの教会へ】 黙1:11

「あなたが見たことを巻物に記して、七つの教会に送りなさい。」

■ 栄光の主イエスが、パトモス島に流刑にされていたヨハネに現れた。

■ イエスは、ヨハネを通して、七つの教会に手紙を送った。

➡この7つの手紙は、教会時代の教会の歴史に重なる!!



七つの教会が表す、
教会の歴史

教会名(意味)		時代・年代	時代の特徴
①エペソ (好ましい)	良	使徒時代 ～1世紀	教会の誕生～福音の広がり
②スミルナ (没薬)	優	迫害時代 1～4世紀	ローマによる大迫害の中での 福音宣教の拡大
③ペルガモン (結婚した)	良	国家教会時代 4～5世紀	キリスト教がローマの国教に!!
④ティアティラ (継続した犠牲)	良	暗黒時代 6～15世紀	政治権力と密着 異教の影響 少数は迫害下で信仰を貫く
⑤サルディス (逃れる者)	可	宗教改革時代 16～17世紀	救済論の回復 変わらず国教会が主流
⑥フィラデルフィア (兄弟愛)	優	大宣教時代 18～19世紀	世界宣教の拡大 アフリカ、アジア、世界へ
⑦ラオデキア (人々が支配する)	不可	背教時代 19世紀～	自由主義神学の台頭 聖書の権威の否定



★図で見る黙示録★

【パラダイス】



聖霊
降臨



【教会時代】

2～3章

Ⅱ. 教会の携挙

RAPTURE



【教会の携挙(空中再臨)とは?!】

① 教会が、天のイエスのもとに挙げられること。

② この教会とは、会堂ではなく、地域教会でもなく、普遍的教会・真の信者のこと。

- ある瞬間、地上にいる、すべての真の信者が、突然、天のイエスのもとに生きたまま挙げられる。すでにパラダイスに召されている信者も共に。復活の体を与えられ、イエスのもとへ集められる。



黙示録にみる携挙の根拠

序 文	栄光のキリストとの遭遇	1章
教会時代(現在)	教会への励ましと警告	2～3章
天上の礼拝	教会の携挙～天上の礼拝	4章
大艱難時代	大艱難時代(7年間)に起こること キリストの再臨	5章～20:3
千年王国	千年王国の様子 白い御座の裁き(最終的裁き)	20:4～25
新天新地	地に降る天のエルサレム 永遠の神の王国	21:1～22:5
結 論	イエスの宣言と招き 警告と約束	22:6～21

一度も出てこない！
教会という言葉が

【イエスの約束】 ヨハネ14:1~3

「あなたがたは心を騒がしてはなりません。
神を信じ、またわたしを信じなさい。

14:2 わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに
言っておいたでしょう。あなたがたのために、
わたしは場所を備えに行くのです。

14:3 わたしが行って、あなたがたに場所を
備えたら、また来て、あなたがたをわたしの
もとに迎えます。わたしのいる所に、あなた
がたをもおらせるためです。」

- ➡イエスは、一度、信者を迎えに戻ってくる。
イエスが、世を裁くために来る、「再臨」とは別!!



【パウロの補足説明】 I テサ 4:16～17

「4:16 主は、②号令と、③御使いのかしらの声と、④神のラツパの響きのうちに、①ご自身天から下って来られます。それから⑤キリストにある死者が、まず初めによみがえり、4:17 次に、⑥生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、⑦いつまでも主とともにいることになります。」

※迫害で中断されたテサロニケでの伝道を補完するために、携挙について補足説明を行っている。



【携挙の7つのステップ】 I テサ 4:16~17

- ① 空中再臨 ... 主イエスご自身が、天から下って来る
- ② 号令 ... 総司令官である主の命令が告げられる。
- ③ 御使いのかしらの声 ... 天使長ミカエルの復唱
- ④ 神のラッパの響きのうちに ... 招集ラッパがなる。
- ⑤ キリストにある死者が、まず初めによみがえり、
... すでに召されている教会時代の信者が先に。
- ⑥ 地上の真の信者が、雲の中に一挙に引き上げられ、
... (「ハルパゾー」... rapture)
- ⑦ 空中で主と会う。いつまでも主とともにいる。



【栄光の体】 I コリ15:42~49

15:42 死者の復活もこれと同じです。朽ちるもので蒔かれ、朽ちないものによみがえらされ、

15:43 卑しいもので蒔かれ、栄光あるものによみがえらされ、弱いもので蒔かれ、強いものによみがえらされ、

15:44 血肉のからだで蒔かれ、御霊に属するからだによみがえらされるのです。血肉のからだがあるのですから、御霊のからだもあるのです。

15:49 私たちは土で造られた者のかたちを持っていたように、天上のかたちをも持つのです。

➡天の物質でできた、天の体(復活の体)を与えられる。





Ⅲ. 天上の礼拝

黙示録4章

【栄光のキリスト・24人の長老たち】 黙4:3~4

■ 携挙された教会は、天上で礼拝をささげる

「その方は、碧玉や赤めのうのように見え、その御座の回りには、緑玉のように見える虹があった。」

➡ 栄光のイエス・キリスト。

「4:4 また、御座の回りに二十四の座があった。これらの座には、白い衣を着て、金の冠を頭にかぶった二十四人の長老たちがすわっていた。」

➡ 教会(真の信者たち)を代表する長老たち



【天上の礼拝】 黙4:10~11

二十四人の長老は御座に着いている方の御前にひれ伏して、永遠に生きておられる方を拝み、自分の冠を御座の前に投げ出して言った。

「主よ。われらの神よ。あなたは、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方です。あなたは万物を創造し、あなたのみこころゆえに、万物は存在し、また創造されたのですから。」

➡携挙された教会は、栄光のイエスを礼拝する。
この後の大艱難時代も、天上の礼拝は続く。



★図で見る黙示録★



IV. 大患難時代

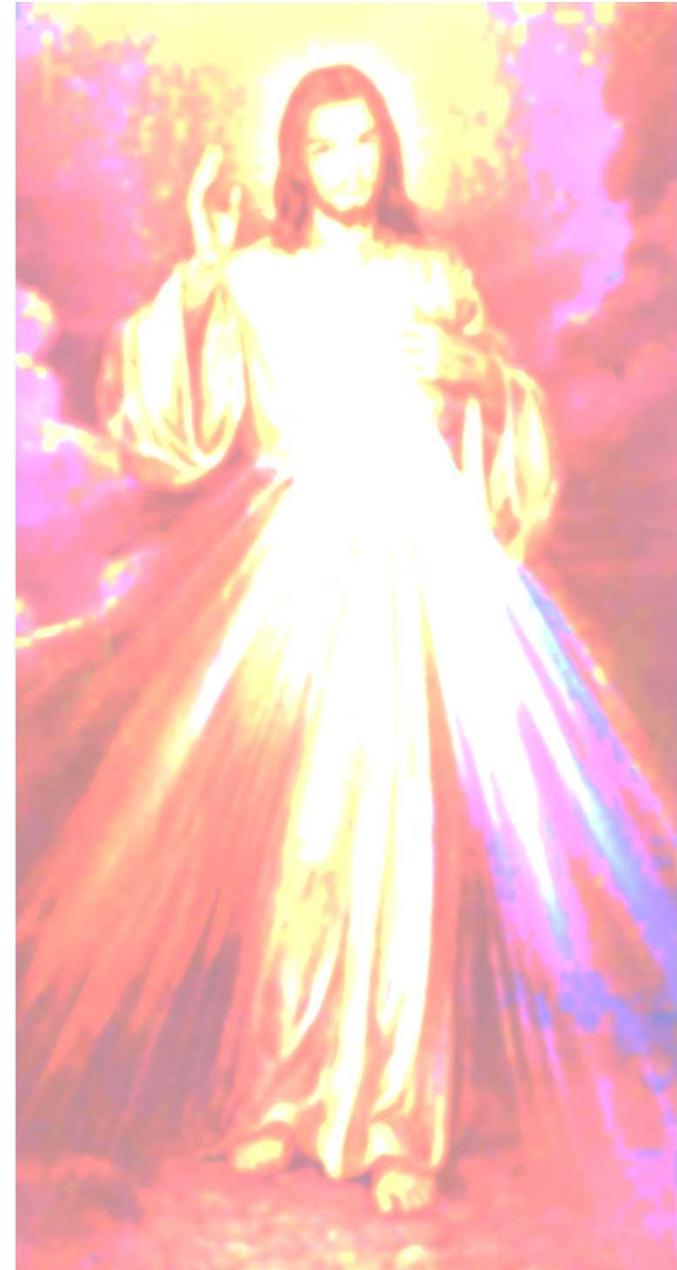


【ヨハネに示される啓示】 黙4:1

その後、私は見た。見よ。天に一つの開いた門があった。また、先にラツパのような声で私に呼びかけるのが聞こえたあの初めの声があった。「ここに上れ。この後、必ず起こる事をあなたに示そう。」

■7つの教会への手紙の後、
教会時代の後にやってくる「**大患難時代**」
についての警告が記されていく!!

(黙示録 4～18章まで)



【大患難時代とは？】

- 今の「恵みの時代」の最後の7年間。
- 聖書預言では、「**主の日**」とも呼ばれる。
- かつてない大災厄が地上を襲う。

【大患難時代の目的】

- ① 地上から悪と悪人を取り除くため。
- ② 全世界規模の霊的覚醒を起こすため。
- ③ イスラエルを民族的回心に導くため。

【大艱難時代の始まり】

- 教会の携挙の後。(何年後かは分からない)
- **反キリスト**がイスラエルと7年間の契約を結ぶ時。
→ 世界の支配者となる、サタンの化身。



【大患難時代の目的①】

①地上から悪と悪人を取り除くため。

「見よ。【主】の日が来る。残酷な日だ。憤りと燃える怒りをもって、地を荒れすたらせ、罪人たちをそこから根絶やしにする。」

イザヤ13:9

「地は裂けに裂け、地はゆるぎにゆるぎ、地はよろめきによろめく。地は酔いどれのように、ふらふら、ふらつき、仮小屋のように揺り動かされる。そのそむきの罪が地の上に重くのしかかり、地は倒れて、再び起き上がれない。」

イザヤ24:19～20



【大患難時代の目的②】

②全世界規模の霊的覚醒を起こすため

「この御国の福音*は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」 マタイ24:14

■大患難時代の最後、主イエスが再臨される前に、福音は全世界に完全に宣べ伝えられる。

* 御国の福音 ⇒ 間近に迫った主の再臨

“再臨される主イエスを信じること”

■悔い改めた14万4千人のユダヤ人が伝道者に!!
反キリストによる大迫害の中で、かつてない数の人々が救われる。おびただしい殉教者も。



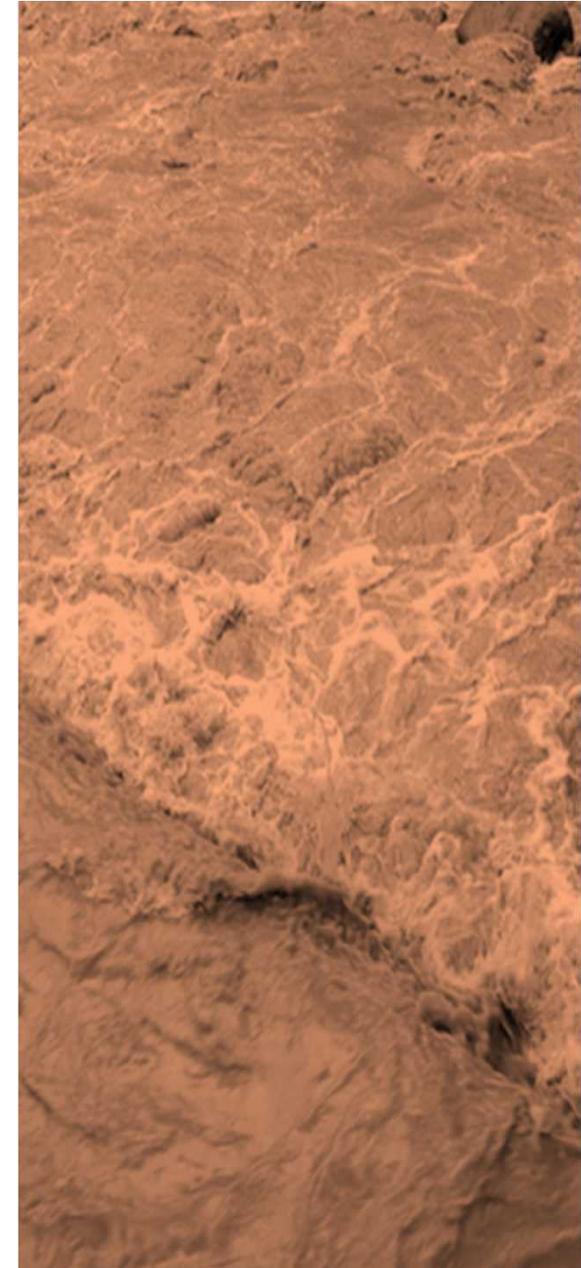
【大患難時代の目的③】

③イスラエルを民族的回心に導くため

「それは、ひと時とふた時と半時*である。聖なる民の勢力を打ち砕くことが終わったとき、これらすべてのことが成就する。」 ダニエル 12:7

- 7年の大患難時代の半分の3年半が過ぎた時、反キリストは、イスラエルとの契約を破棄する。

* 後半の3年半は、イスラエルとクリスチャンに対する激烈な迫害が行われる。



【大患難時代に下る裁き】

三段階に分けて、神の裁きが下る

★前半の3年半★

①七つの封印の裁き

②七つのラツパの裁き

★後半の3年半★

③七つの鉢の裁き



【①七つの封印の裁き】 黙6～7章

①反キリストによる世界征服

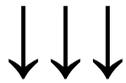
②世界大戦

③大饑饉

④世界人口の1/4の死

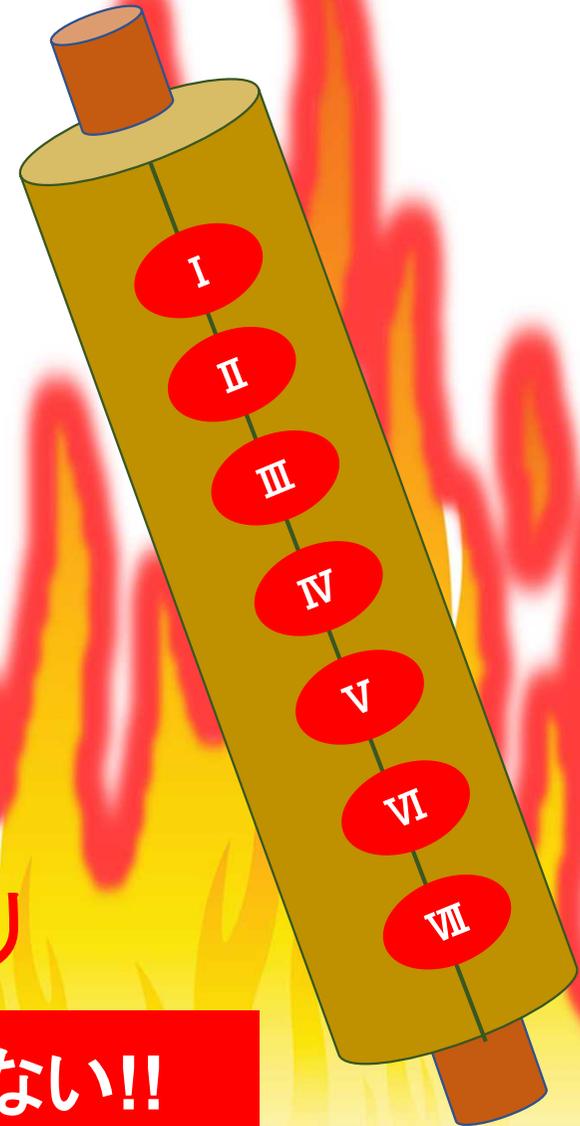
⑤聖徒の迫害

⑥自然界の異変



⑦さらに、次の「七つの災い」の始まり

これは、大患難時代の序盤戦に過ぎない!!



【②七つのラッパの裁き】 黙8～9章

①1/3の土地の滅び

②1/3の海の滅び

③1/3の川、泉の滅び

④1/3の宇宙空間の滅び

⑤悪霊の侵入 (イナゴのような悪霊)

⑥悪霊の侵入 (黒い馬に乗った悪霊)



⑦さらに、最終的な「鉢の裁き」を告げる!!



【③七つの鉢の裁き】 黙16章

- ①悪性のはれもの
- ②血に染まる海 海の完全な滅び
- ③血に染まる川と泉
- ④太陽に焼かれる
- ⑤獣の国(バビロン)が暗黒に包まれる
- ⑥ユーフラテス川が干上がる
⇒ユダヤ人殲滅軍隊の進入路ができる
- ⑦汚れた三つの霊が悪の軍勢を招集する

「こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた」 黙16:16



ついに最終戦争へ

【ハルマゲドン(最終戦争)】

➡反キリストによる
ユダヤ迫害のクライマックス!!

- ①世界中から招集された軍隊が、
イズレエル平原に集結。
- ②ユダヤ人の避難地ペトラへ攻め込む。
- ③絶体絶命の危機の中、
ユダヤ人が民族的回心にいたる。
- ④キリストが再臨され、
悪の軍隊は、殲滅される。



■ ハルマゲドンで、世界中の軍隊が
集結すると言われるイスラエル平原

■ アフリカ、アジア、ヨーロッパの通商路
古代から、最も多く戦場となった地。

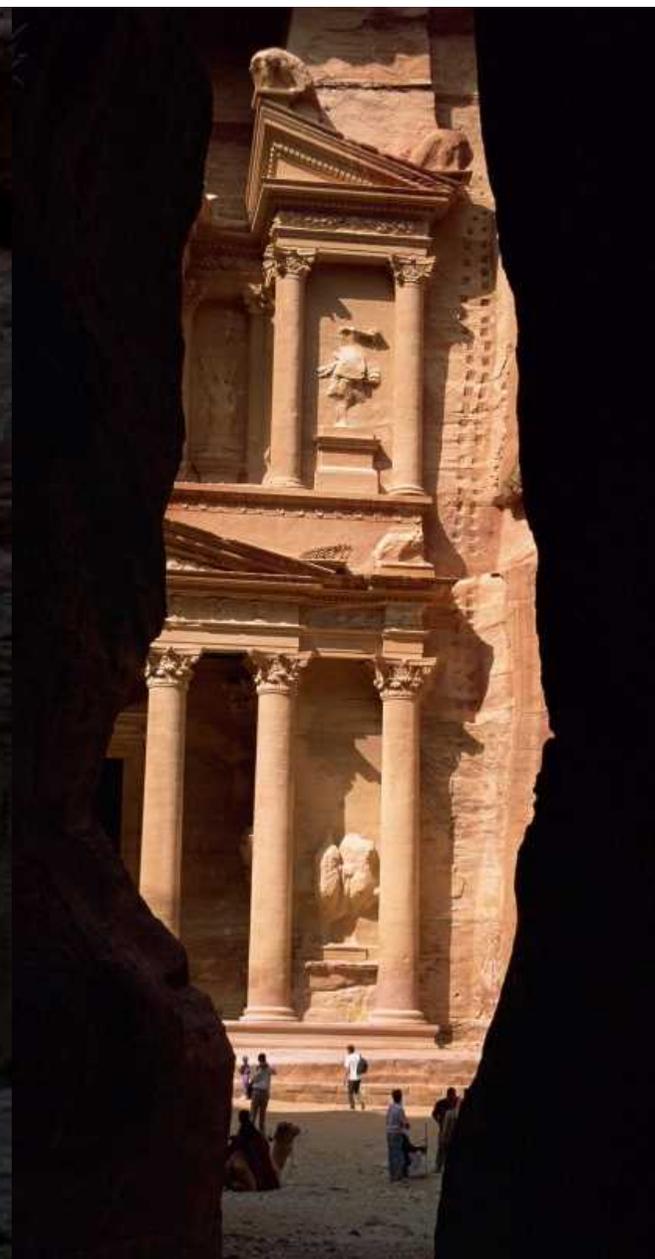
ハルマゲドンの名の由来
メギドの丘(ハル・メギド)は
平原の北西に位置



イエスの故郷ナザレ・突き落としの崖からの風景

【ナバテア人の古代遺跡ペトラ】

大艱難時代の後半、大迫害から
イスラエルが逃れる地とされる。



【ユダヤ人の民族的回心】 ゼカリヤ12:9～11

その日、わたしは、エルサレムに攻めて来るすべての国々を捜して滅ぼそう。

わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために激しく泣く。

- 民族絶滅の危機の中で、
イスラエルは、民族的回心に至り、
十字架で殺したイエスこそ、メシアと信じる。



【裁き主・栄光のキリストの再臨】 黙19章

19:12 その目は燃える炎であり、その頭には多くの王冠があつて、ご自身のほかだれも知らない名が書かれていた。

19:13 その方は血に染まった衣を着ていて、その名は「神のことば」と呼ばれた。

19:14 天にある軍勢はまっ白な、きよい麻布を着て、白い馬に乗って彼につき従った。

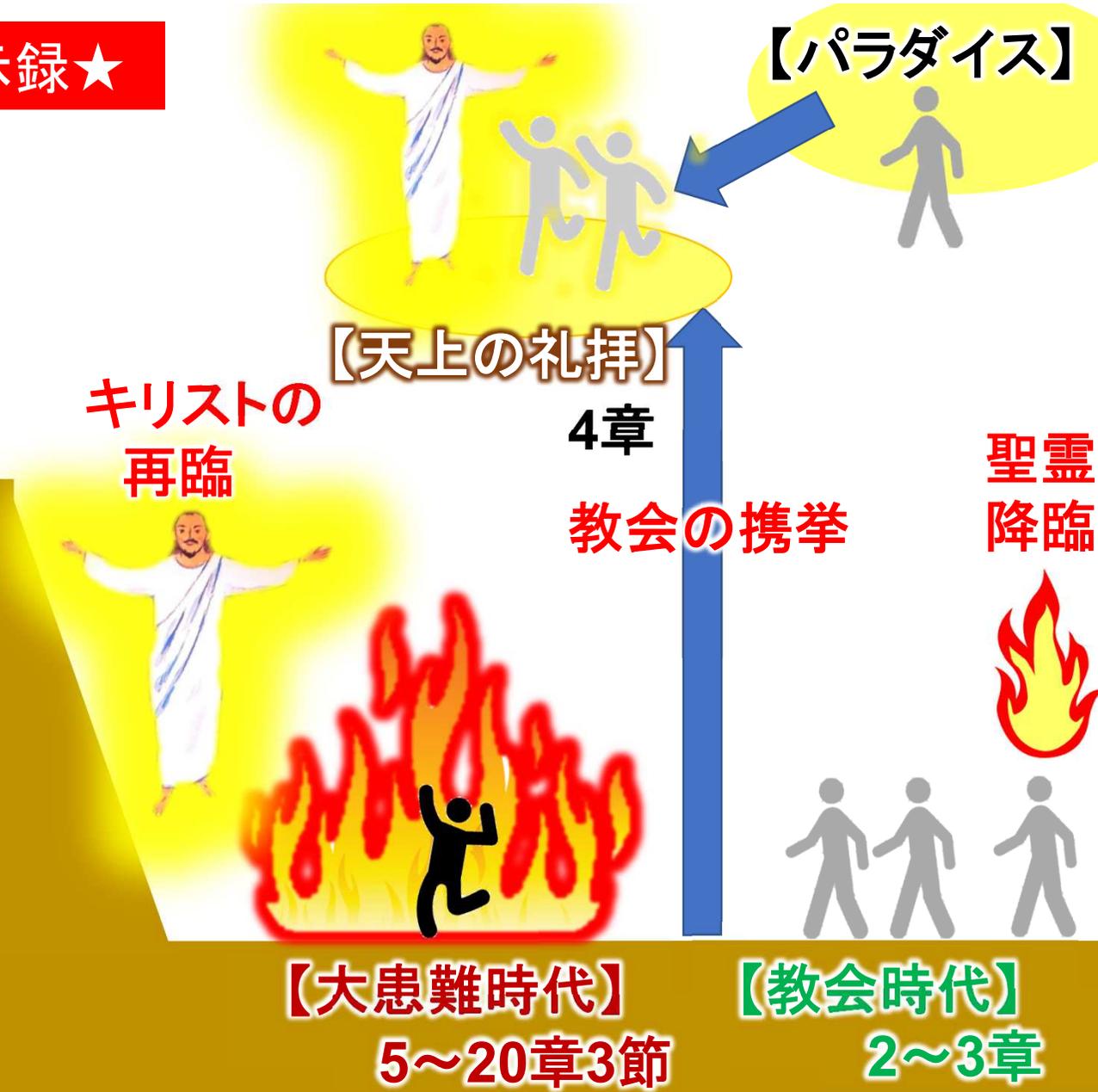
19:15 この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。この方は、鉄の杖をもって彼らを牧される。この方はまた、万物の支配者である神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれる。

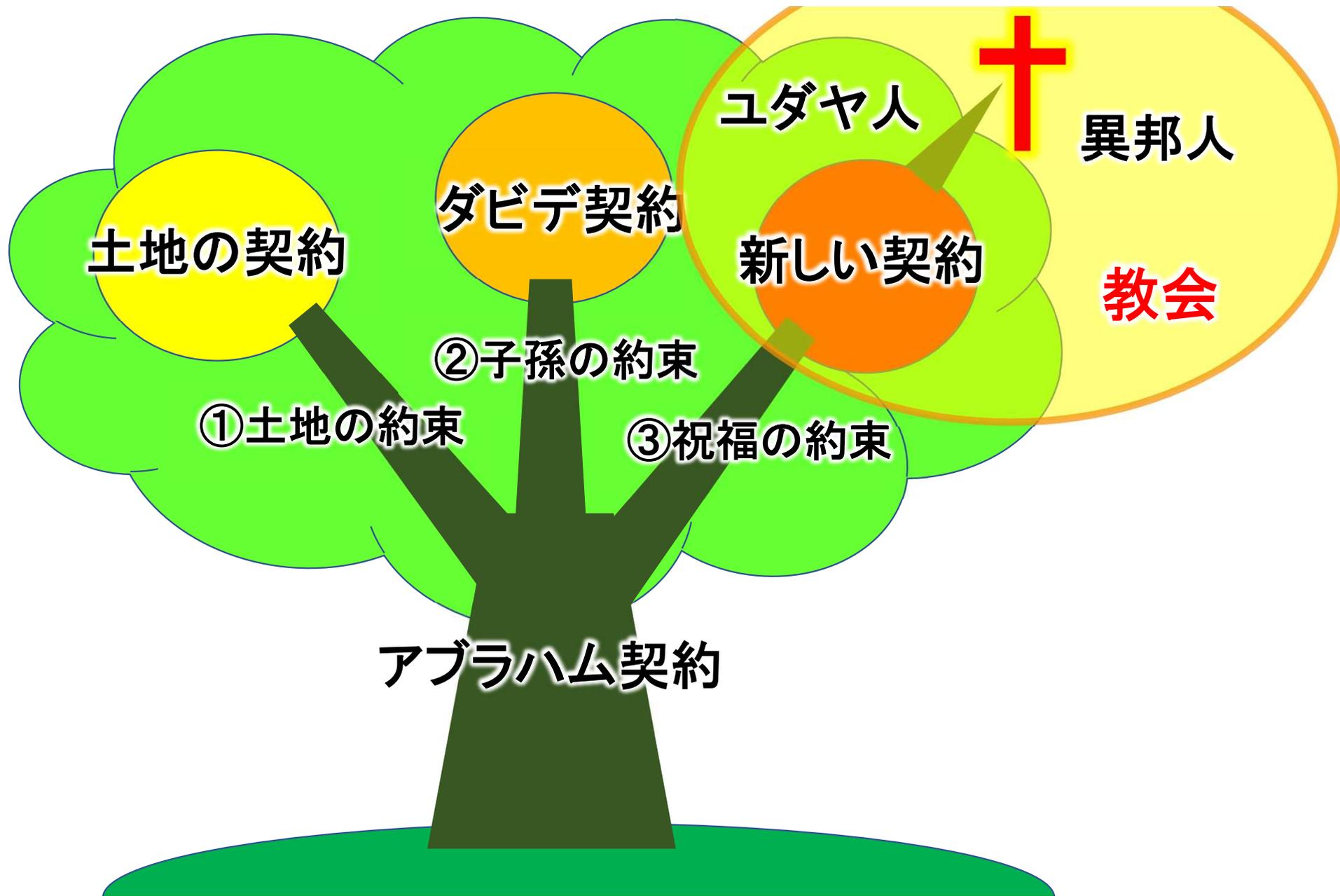
19:16 その着物にも、ももにも、「**王の王、主の主**」という名が書かれていた。



再臨の主は
瞬く間に
勝利される!!

★図で見る黙示録★







土地の契約

ダビデ契約

ユダヤ人



異邦人

新しい契約

教会

②子孫の約束

①土地の約束

③祝福の約束

大患難時代は、イスラエルに対する最後の裁き



ユダヤ人

異邦人

土地の契約

新しい契約

①土地の約束

③祝福の約束

メシア再臨・千年王国(メシア的王国の実現へ!!)

V. 千年王国



【千年王国・閉じ込められるサタン】 黙20:1～3

また私は、御使いが底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手に持って、天から下って来るのを見た。

彼は、**悪魔**であり**サタン**である**竜**、あの**古い蛇**を捕らえ、これを千年の間縛って、底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国の民を惑わすことのないようにした。

■**陰府(よみ)の底に落とされたサタンは、千年後、最終的な裁きのために引き出される。**



【千年王国に入る人々】

① 旧約時代の聖徒たち

② 新約時代の聖徒(クリスチャン)たち

A. 死んでパラダイスに召された人。

B. 携挙された人。

③ 大艱難時代の聖徒たち

C. 迫害で殺された人。

D. 最後まで生き延びた人。

復活の体に変えられる

肉体をもったまま

肉体をもった人々の子孫が増え広がり、
千年後、彼らの中から、サタンに反抗する者たちが!!

【千年王国における統治】 黙20:1～6

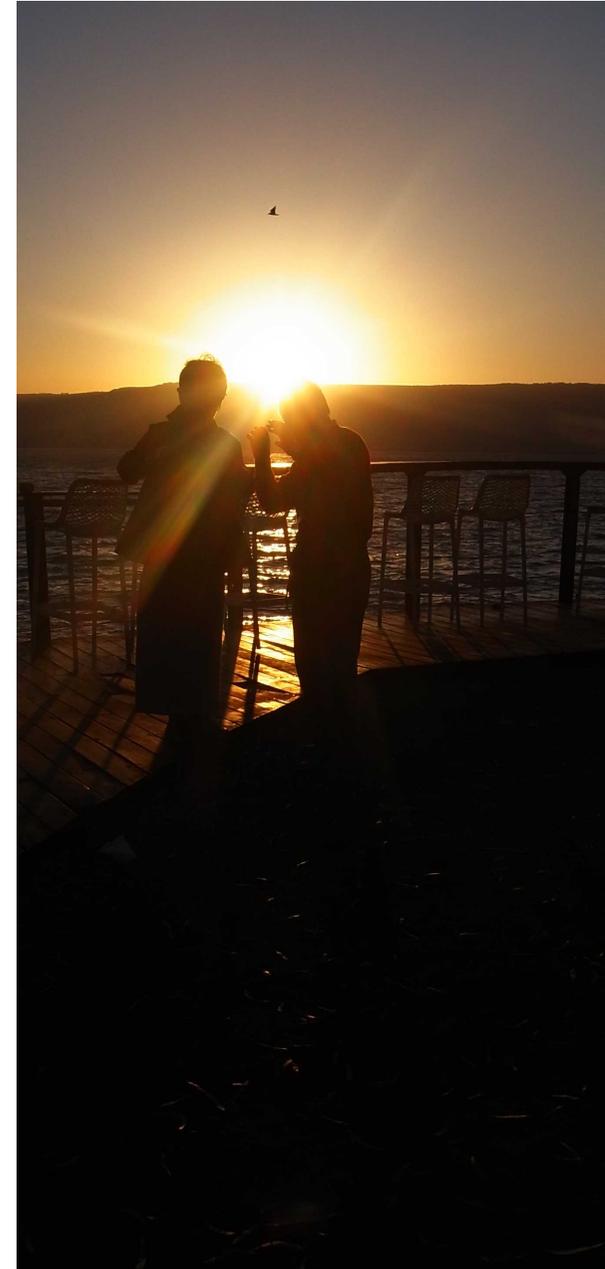
■キリストが、世界の王。

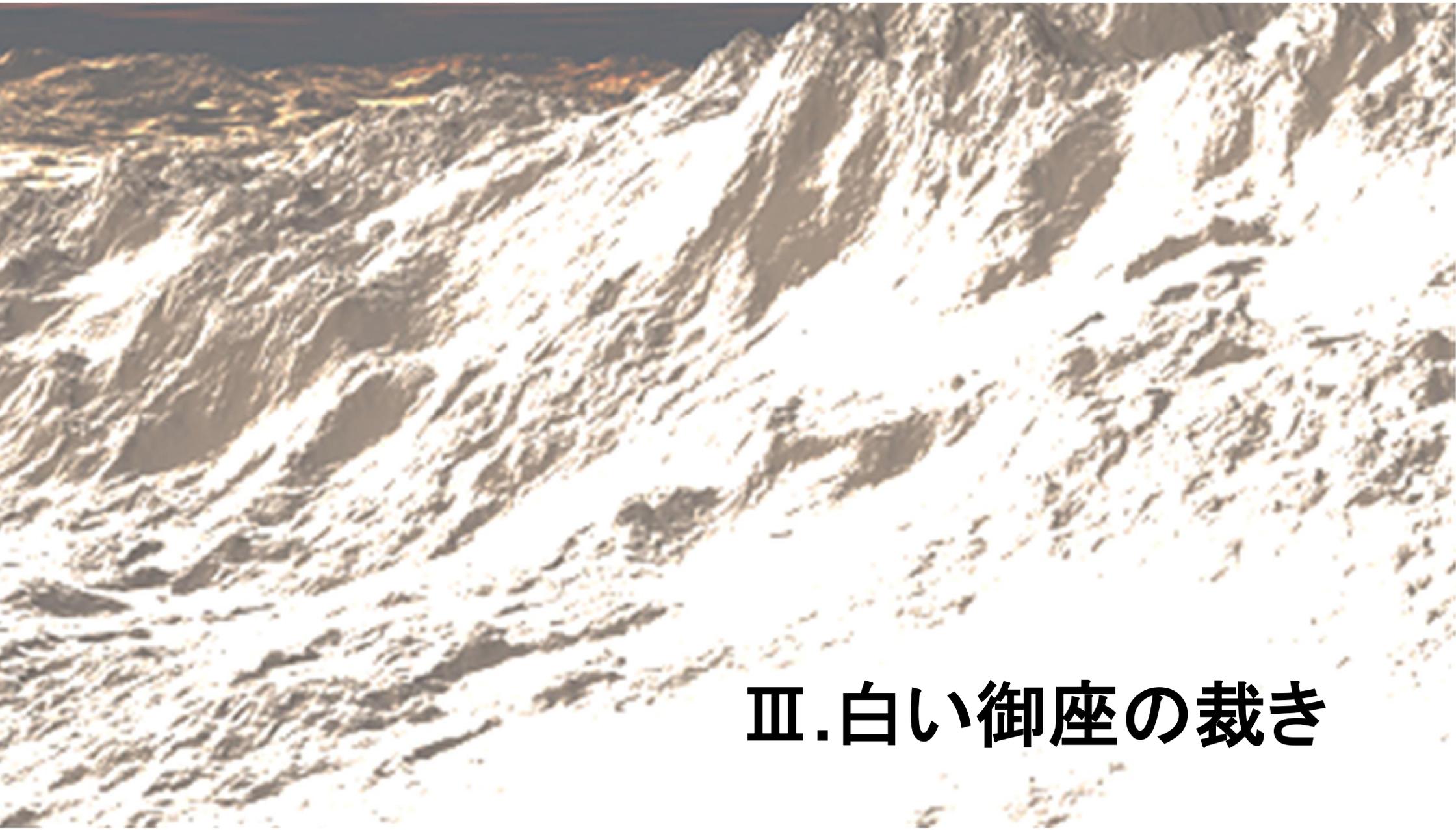
■エルサレムが、世界の中心。

全イスラエルは、エルサレムとその周囲に住む。

■異邦人信者は、それぞれ異邦人の国を治める。

■福音を信じて復活したすべての者は、
キリストと共に王国を受け継ぎ、
王国の共同統治者とされる。





Ⅲ. 白い御座の裁き

【白い御座の裁き】 黙20:11~15

■ 完全に新しくなった世界で、キリストは「白い御座」から、陰府にいる、すべての不信者を裁かれる

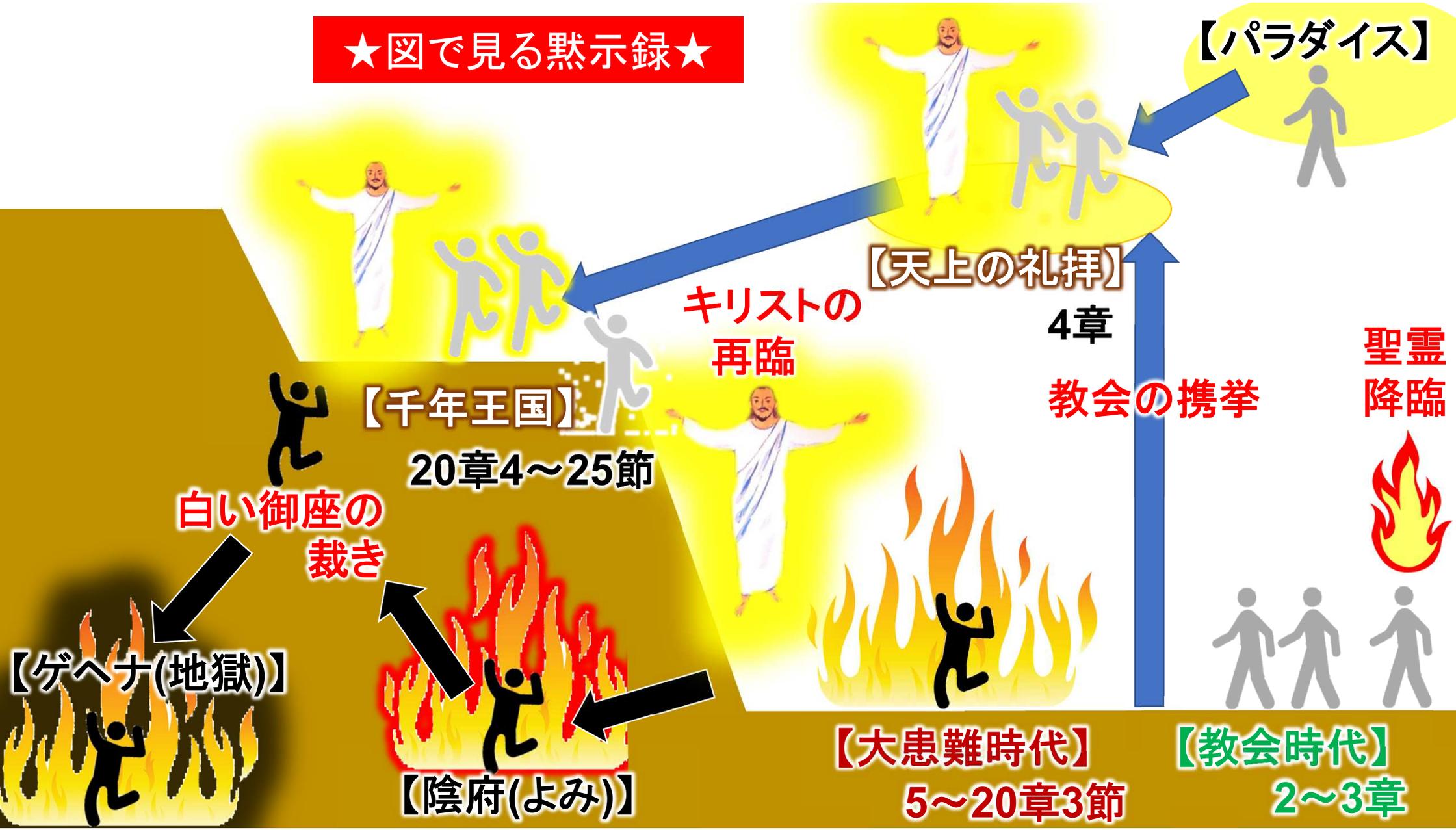
「そして、数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行いに応じてさばかれた。

...それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。」

■ 不信者も復活し、火の池(ゲヘナ)に投げ込まれ、永遠の滅びにいたる。死とハデス(陰府)は消滅する。



★図で見る黙示録★



【パラダイス】

【天上の礼拝】

4章

キリストの再臨

【千年王国】

20章4~25節

白い御座の裁き

【ゲヘナ(地獄)】

【陰府(よみ)】

【大患難時代】

5~20章3節

【教会時代】

2~3章

教会の携挙

聖霊降臨



VI. 新天新地



【天のエルサレム】 黙21:1~4

21:1 また私は、新しい天と新しい地とを見た。以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。

21:2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、天から下って来るのを見た。

21:3 そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。

「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、21:4 彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」



天地は、まったく
新しくされる!!

死もなく、
悲しみ、叫び、
苦しみもない

【天のエルサレム】 黙21:16~21

21:16 都は四角で、その長さと同幅は同じである。彼がそのさおで都を測ると、一万二千スタディオンあった。長さも幅も高さも同じである。

21:17 また、彼がその城壁を測ると、人間の尺度で百四十四ペーキュスあった。これが御使いの尺度でもあった。21:18 その城壁は碧玉で造られ、都は混じりけのないガラスに似た純金でできていた。

21:21 また、十二の門は十二の真珠であった。どの門もそれぞれ一つの真珠からできていた。都の大通りは、透き通ったガラスのような純金であった。



天のエルサレム
月くらいの
大きさの立方体

【天のエルサレム】 黙21:22～25

21:22 私は、この都の中に神殿を見なかった。
それは、万物の支配者である、神であられる
主と、小羊とが都の神殿だからである。

21:23 都には、これを照らす太陽も月もない。
というのは、神の栄光が都を照らし、小羊が都の
あかりだからである。

21:24 諸国の民が、都の光によって歩み、地の
王たちはその栄光を携えて都に来る。

21:25 都の門は一日中決して閉じることがない。
そこには夜がないからである。



神殿はない！
キリストが神殿！！



太陽もない！
神の栄光が輝く！！



暗闇はない！
すべてが
主に照らされている

【天のエルサレム】 黙22:1~5

22:1 御使いはまた、私に水晶のように光るいのちの水の川を見せた。それは神と小羊との御座から出て、22:2 都の大通りの中央を流れていた。川の両岸には、いのちの木があって、十二種の実がなり、毎月、実ができた。また、その木の葉は諸国の民をいやした。

22:3 もはや、のろわれるものは何もない。神と小羊との御座が都の中にあって、そのしもべたちは神に仕え、22:4 神の御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の名がついている。

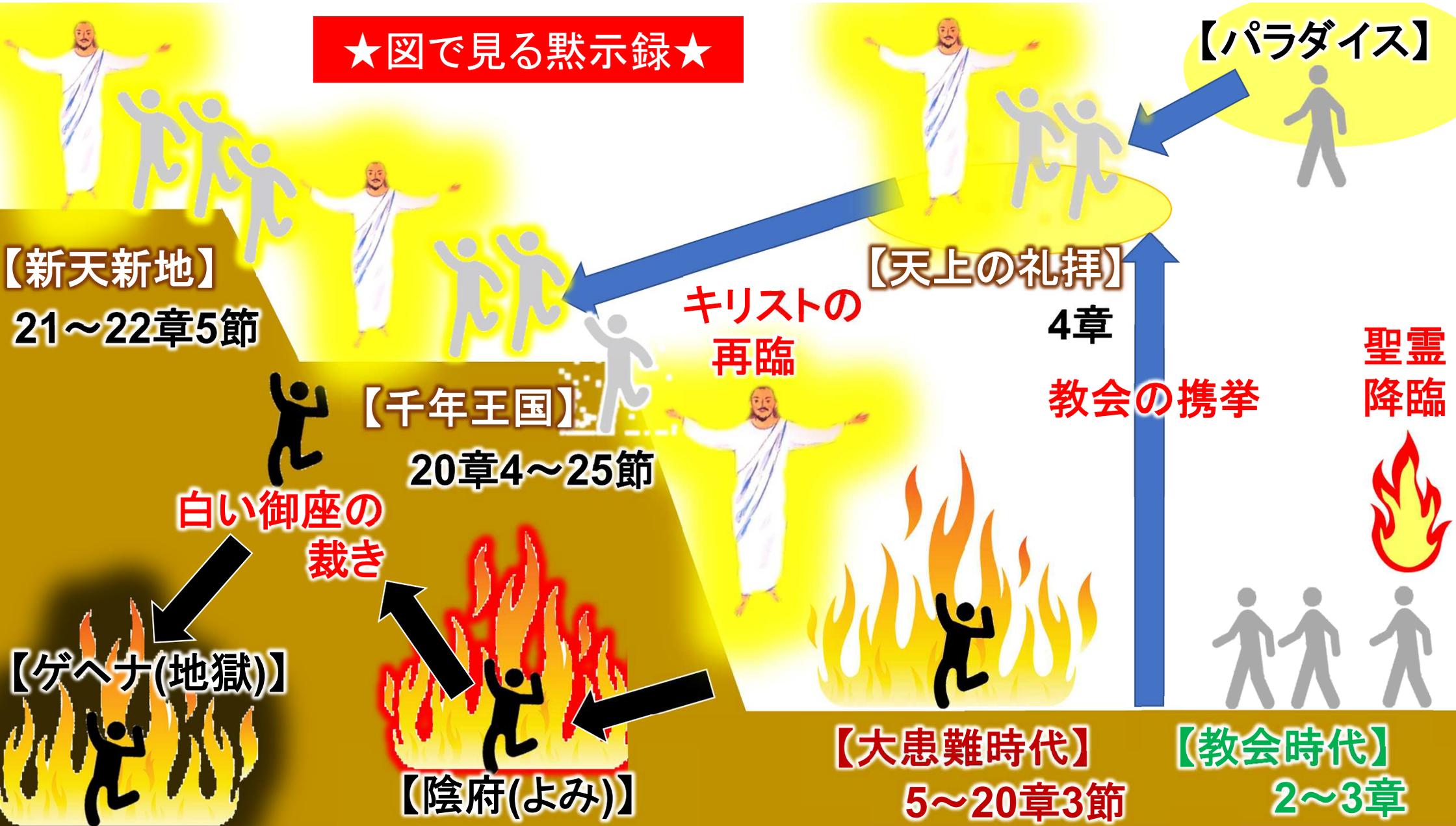
22:5 もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、彼らにはともしびの光も太陽の光もいらない。彼らは永遠に王である。

病はない！

祝福だけ！

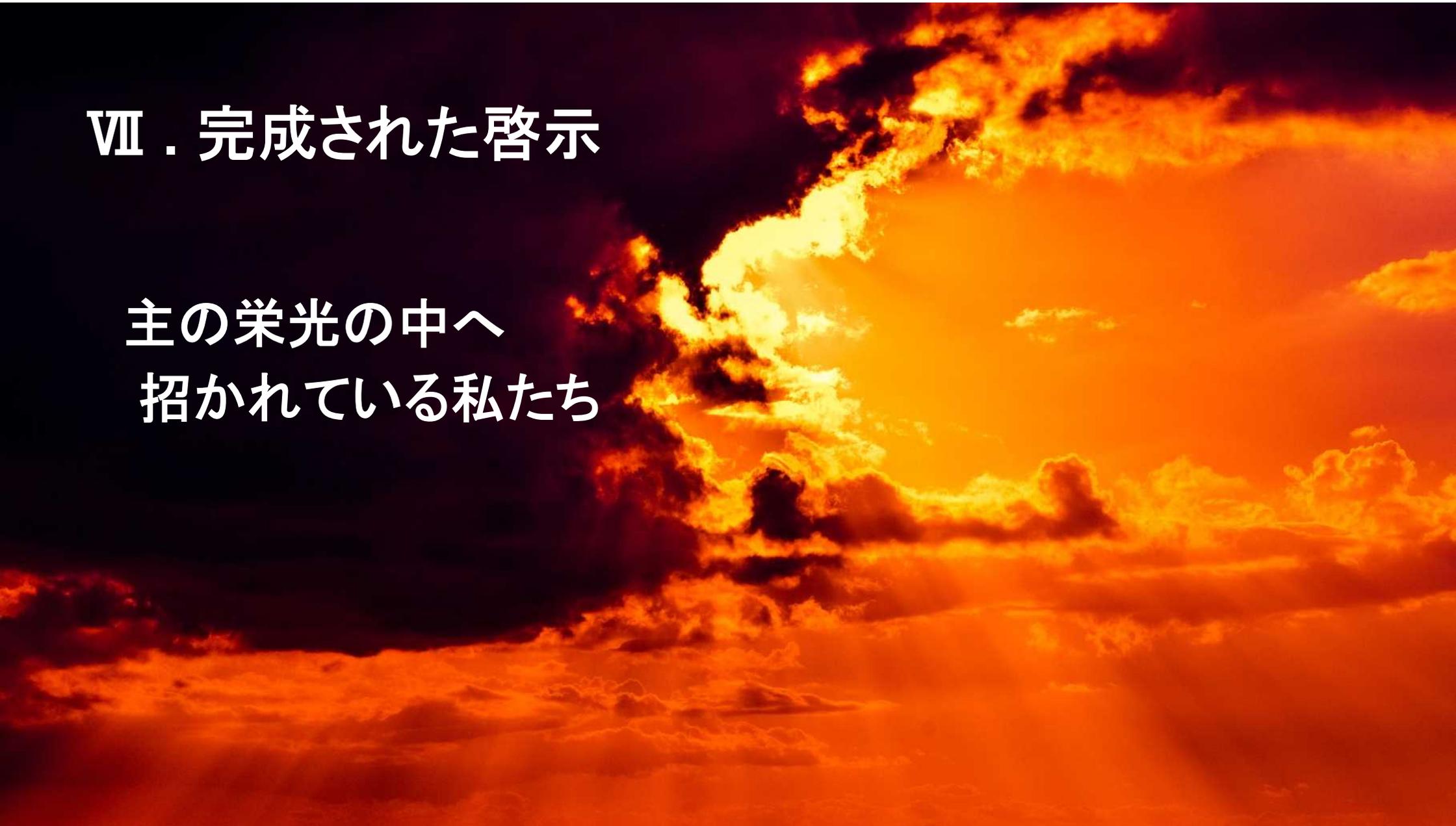
信者の額には、
神の名が記され、
永遠の王とされる！！

★図で見る黙示録★



VII . 完成された啓示

主の栄光の中へ
招かれている私たち



【完成された啓示・(聖書の最後の頁)】 黙22:16~20

:16 「わたし、イエスは御使いを遣わして、諸教会について、**これらのことをあなた**がたにあかした。わたしはダビデの根、また子孫、輝く明けの明星である」

:17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」これを聞く者は、「来てください」と言いなさい。渇く者は来なさい。**いのちの水**がほしい者は、それをただで受けなさい。

:18 私は、**この書の預言のことば**を聞くすべての者にあかしする。もし、これにつけ加える者があれば、神は**この書**に書いてある災害をその人に加えられる

:19 また、**この預言の書のことば**を少しでも取り除く者があれば、神は、**この書**に書いてあるいのちの木と聖なる都から、その人の受ける分を取り除かれる。

:20 **これらのことを**あかしする方がこう言われる。

「しかり。わたしはすぐに来る。」アーメン。主イエスよ、来てください。

:21 主イエスの恵みがすべての者とともにあるように。アーメン。

【私たちに求められること】

■福音を信じること。

福音を信じた者に約束された将来を信じること

■聖書の権威を信じて、学んでいくこと。

私たちの知るべきことは、聖書にすべて、すでに記されている。

■主の約束・計画を学び、理解を深めるについて、 聖霊が、救いの確信を強めていってくださる。

■主が来られる日を待ち望みつつ、今を歩んでいく。 それが、すべてのクリスチャンに求められる道。

マラナタ。主イエスよ。来てください!!



【使徒の働きが、私たちに託していること】

■福音を伝え、聖書を解き明かし、人々を教え導くこと。

→救われるべき異邦人が、すべて救われる

教会の完成の時まで!!

■困難がある。道を外れる人もいる。偽りの信者もいる。

→しかし、あなたは、道をそれることなく、堅く福音に立ち、宣言していくように。主イエスが命じられている。

■私たちクリスチャンの道は、常に、

福音宣教によって、福音宣教のために拓かれる!!

「天のお父さま。わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

使徒たちと いつも共(とも)にいてくださったように、

わたしの歩(あゆ)むべき道(みち)を 拓(ひら)いてください。

ここから、あなたの福音宣教(ふくいんせんきょう)に、

よろこびもって遣(つか)わしてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」